

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年 5月 20日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県米原市間田395番地
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
オオサワ株式会社
代表取締役 大澤愛一郎
第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	オオサワ株式会社 代表取締役 大澤愛一郎
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県米原市間田395番地

1 事業所の概要

事業所の名称	オオサワ株式会社					
事業所の所在地	滋賀県米原市間田395番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	6	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 一般土木建築工事業
事業の概要	土木建築工事業					
従業員の数	45	人	作業時間	8 (8時から17時)	時間/日	
該当する事業者の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	91 台
	コンプレッサ	台	空気調和設備	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和3	年度	報告対象年度	令和5	年度
	終了年度	令和6	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

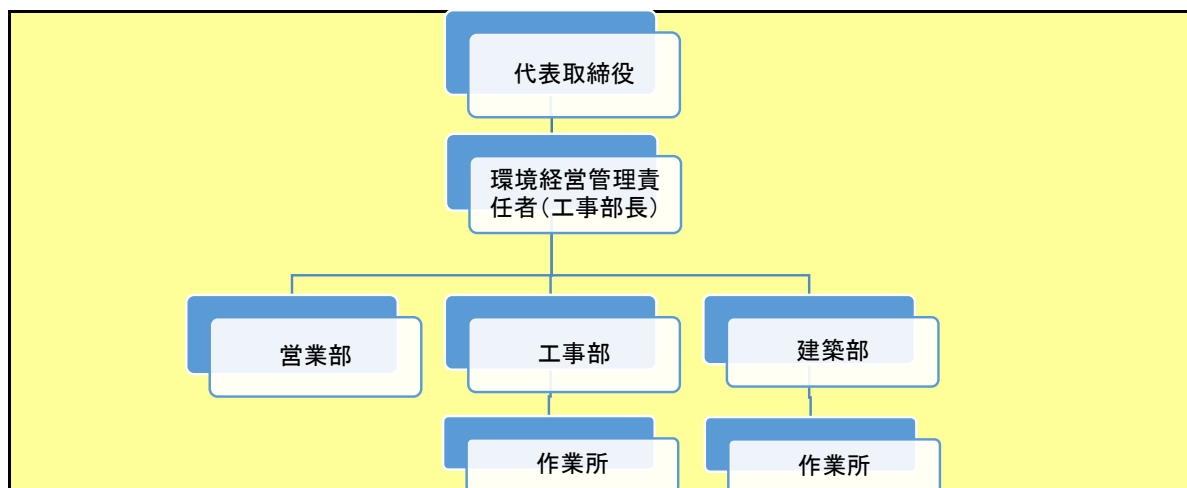
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境経営方針

オオサワ株式会社は、全ての事業活動において、以下の活動を実施することで、環境負荷の継続的な削減に取り組めます。

1. 環境に関する法令や規則を遵守します。
2. 環境に基づいたPDCAサイクルを実施することで、継続的改善に取り組めます。
3. 環境負荷を低減させるため、以下の活動を実施します。
 - ・電力による二酸化炭素削減
 - ・ガスによる二酸化炭素削減
 - ・化石燃料による二酸化炭素削減
4. 産業廃棄物排出を低減させるため、以下の活動を実施します。
 - ・一般廃棄物の削減及び建設副産物の再資源化
5. 水使用量を低減させるため、以下の活動を実施します。
 - ・水道水の削減
6. 環境に配慮した生産を向上するため、以下の活動を実施します。
 - ・環境に配慮した計画や設計または施工の提案
7. グリーン購入の推進
 - ・建設資材や事務用品のグリーン購入
8. 社会貢献の推進を図るため、以下の活動を実施します。
 - ・CESAプログラムの実施
 - ・淡海エコフオスターの実施など、地域に密着した地域貢献活動の実施
9. 全社員が自主的、積極的な活動を実施するため、この環境方針を周知徹底させ環境保全の意識向上を図ります。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ① 平成30年4月 LED照明のテスト導入 経理事務室 2台
- ② 令和 1年9月 省エネエアコンへの切替 事務室、会議室、応接室 3基
- ③ 令和 3年7月 省エネ診断を受診。最新高効率照明への更新、空調機の温度設定緩和、空調機のフィルタ清掃による省エネの助言を受ける。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	最新高効率照明設備への更新	令和3年度	計画通り実施済
2	運用改善	空調温度設定緩和による省エネ	令和3～6年度	実施中
3	運用改善	空調機フィルター清掃による省エネ	令和3～6年度	実施中
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
現状は大半の照明機器が旧照明設備であり、高効率照明設備に更新することで大幅な電力削減を実施する。 社内の省エネ意識を高め、空調機の設定温度を夏期26℃、冬季22℃を目標とする。 盆と年末で年2回の空調機フィルタ清掃を行い、消費電力の削減を図る。	項目1は令和4年1月末に実施済み。項目2は令和5年度は夏季猛暑により実施できない日も多くあり、冬季は目標に近い温度設定ができた。項目3は夏季、冬季2回の大掃除に合わせ実施することができた。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(3)年度	(4)年度	(5)年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	10	10	8	8		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	10	7	9	8		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	10	7	9	8		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						